



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,098	△4.9	197	△23.8	288	△18.7	219	△12.4
2023年3月期第1四半期	5,364	6.7	259	△30.8	354	△21.4	251	△20.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 614百万円 (419.1%) 2023年3月期第1四半期 118百万円 (△63.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 49.54	円 銭 -
2023年3月期第1四半期	56.55	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第1四半期	百万円 30,982	百万円 21,779	% 67.8	円 銭 4,733.88
2023年3月期	30,351	21,256	67.5	4,614.07

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 21,018百万円 2023年3月期 20,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 -	円 銭 20.00	円 銭 -	円 銭 20.00	円 銭 40.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	20.00	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,900	1.4	480	△24.8	570	△24.6	400	△24.6	90.09
通期	23,800	6.8	950	△14.8	1,130	△16.3	770	△18.8	173.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	4,450,000株	2023年3月期	4,450,000株
2024年3月期1Q	9,961株	2023年3月期	9,961株
2024年3月期1Q	4,440,039株	2023年3月期1Q	4,440,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）における我が国経済は、コロナ禍からの脱却の動きが進む中、個人消費やインバウンド需要の回復、自動車の生産制約の解消の進展や春闘の賃上げ率アップを反映した賃金の伸び率の拡大などプラス成長に寄与する動きが散見されました。

鉱工業生産指数については、4月は自動車関連を中心に上昇しましたが、5月は幅広い業種で低下、自動車関連も回復が一服しました。6月は海外・国内向けの販売が堅調であることなどを受けて、自動車工業等が上昇したことなどから、全体として上昇し、基調判断については「生産は緩やかな持ち直しの動き」に据え置かれました。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売ですが、主力のクラフト紙袋については、想定していたほどには需要が戻っておりません。また、エネルギー価格や人件費の上昇等に伴うコスト上昇圧力が拡大するなど不透明な状況が続いております。連結売上高は5,098百万円で前年同期に比して265百万円の減収でした。減収理由は主として販売数量の減少によるものであり、さらに設備投資の償却費、高止まりする諸経費や偶発的な損失などの費用負担が増加した結果、営業利益197百万円（前年同期比61百万円の減益）、経常利益288百万円（同66百万円の減益）および親会社株主に帰属する四半期純利益219百万円（同31百万円の減益）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋の業界全体の当第1四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期比8.5%の減少となりました。合成樹脂、化学薬品、米麦用途が大きく減少したほか、セメント、製粉、飼料、その他鉱産物の用途が減少しました。農水産物、ペットフード、澱粉の用途は前年同期の数量を上回りました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は、原燃料費急騰によるコスト高を理由として値上がりが続ぎ、高止まりしています。

当社の売上数量は前年同期比11.9%の大幅減少となりました。業界の傾向と同じく合成樹脂、化学薬品の用途が大きく減少しました。米麦袋は業界の傾向に反して微減に止まりました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、米麦袋は微増となりましたが一般袋が減少し、前年同期から2.9%減少しました。タイ昭和パックス㈱の当第1四半期連結累計期間（1～3月）は、自動車関連の低迷による主要取引先の減産の影響もあって、売上数量は6.2%の減少でした。山陰製袋工業㈱の当第1四半期連結累計期間（1～3月）は、主力の米麦袋の前倒し納入の増加により、売上数量は前年同期比0.4%の微増となりました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は3,258百万円で、前年同期に対し60百万円の増収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用ともに減少となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、ナフサ価格は一旦落ち着いたものの、エネルギーコスト、物流費など諸経費の上昇により高止まりしています。

当社の売上数量は、産業用、農業用ともに減少し、合計では前年同期比13.5%の減少でした。産業用ではパレットストレッチ用フィルム「エスラップ」、ポリスチレンフィルム「エスクレア」が増加しましたが、熱収縮包装フィルム「エスタイト」、マスキングフィルム「HQF」、一般広幅フィルム、アスベスト隔離シート、発泡フィルムが減少しました。農業用ではサクランボ用フィルム、強化ポリエチレンフィルムが増加しましたが、ハウスフィルム「バーナルハウス」、「農サクビ」、牧草ストレッチフィルムが減少しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は943百万円で、前年同期に対し77百万円の減収となりました。

○コンテナ

フレキシブルコンテナの業界の出荷量は国内生産品と海外生産品を合わせると合成樹脂、飼料の用途が増加となりましたが、化学工業品、食品、除染用、窯業土石品の用途が減少しました。全体では前年同期から減少となりました。海外からの輸入量の全体は前年から微増となりました。

当社のフレキシブルコンテナ「エルコン」の売上数量は、前年同期比10.9%の減少でした。液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」は25.6%の増加、大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は前年同期からほぼ横ばいとなりました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は504百万円で、前年同期に対し75百万円の増収となりました。

○不動産賃貸

前連結会計年度に賃貸契約に一部解約がありました。当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は55百万円で、前年同期から7百万円の減収でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は30,982百万円で、前連結会計年度末に比べて631百万円増加しました。主な増加要因は商品及び製品426百万円および投資有価証券434百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金182百万円です。

(負債)

負債合計は9,203百万円で、前連結会計年度末に比べて108百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金209百万円およびその他の流動負債587百万円、主な減少要因は電子記録債務493百万円および賞与引当金150百万円です。

(純資産)

純資産合計は21,779百万円で、前連結会計年度末に比べて522百万円増加しました。主な増加要因はその他有価証券評価差額金298百万円および為替換算調整勘定110百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると減収減益の結果となりました。販売数量の減少や設備投資の償却費、高止まりする諸経費や偶発的な損失などの費用負担の増加が減益の主要因です。第2四半期以降は引き続き販売数量の伸長と諸経費の抑制に努めてまいります。当連結会計年度(2023年4月1日～2024年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、現状では当初の予想(2023年5月11日発表)を変更せず、連結売上高23,800百万円、連結経常利益1,130百万円、親会社株主に帰属する当期純利益770百万円を見込みます。

なお、連結子会社である㈱ネスコにおいて、同社の取引先に対する債権につき期日が経過しても売掛金が入金されない事態となり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じております。詳細は添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご覧ください。今後の回収状況により貸倒引当金の計上などが必要となり業績予想に影響を与えるような場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,152,838	8,128,735
受取手形及び売掛金	6,147,755	5,965,293
電子記録債権	806,126	844,943
商品及び製品	1,237,180	1,664,138
仕掛品	129,104	148,581
原材料及び貯蔵品	1,265,689	1,227,529
その他	304,741	232,377
貸倒引当金	△13,172	△11,988
流動資産合計	18,030,264	18,199,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,868,373	8,871,945
減価償却累計額	△6,418,236	△6,422,850
建物及び構築物(純額)	2,450,137	2,449,094
機械装置及び運搬具	10,815,227	10,876,939
減価償却累計額	△9,486,303	△9,597,434
機械装置及び運搬具(純額)	1,328,924	1,279,505
土地	918,553	923,909
建設仮勘定	393,194	433,528
その他	876,065	885,303
減価償却累計額	△801,200	△810,741
その他(純額)	74,864	74,562
有形固定資産合計	5,165,674	5,160,601
無形固定資産		
ソフトウェア	261,551	296,867
無形固定資産合計	261,551	296,867
投資その他の資産		
投資有価証券	5,948,696	6,383,285
退職給付に係る資産	772,970	779,882
繰延税金資産	57,209	58,271
その他	123,071	180,897
貸倒引当金	△7,660	△76,571
投資その他の資産合計	6,894,287	7,325,765
固定資産合計	12,321,514	12,783,234
資産合計	30,351,778	30,982,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,087,323	3,296,331
電子記録債務	1,512,154	1,018,798
短期借入金	1,287,334	1,281,336
未払法人税等	124,691	151,875
賞与引当金	360,907	210,603
役員賞与引当金	8,060	-
設備関係支払手形	2,785	17,396
営業外電子記録債務	219,993	90,643
その他	619,410	1,206,766
流動負債合計	7,222,661	7,273,751
固定負債		
繰延税金負債	1,385,073	1,514,038
役員退職慰労引当金	123,352	45,393
退職給付に係る負債	217,119	223,355
資産除去債務	4,411	4,411
長期預り保証金	133,330	132,496
その他	8,848	9,629
固定負債合計	1,872,135	1,929,323
負債合計	9,094,796	9,203,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	16,051,917	16,183,089
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	16,972,822	17,103,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,716,937	3,015,055
為替換算調整勘定	507,348	618,078
退職給付に係る調整累計額	289,563	281,482
その他の包括利益累計額合計	3,513,849	3,914,616
非支配株主持分	770,310	761,159
純資産合計	21,256,982	21,779,771
負債純資産合計	30,351,778	30,982,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,364,396	5,098,987
売上原価	4,454,339	4,189,629
売上総利益	910,057	909,357
販売費及び一般管理費	650,549	711,728
営業利益	259,508	197,629
営業外収益		
受取利息	392	567
受取配当金	85,619	86,942
その他	11,311	6,840
営業外収益合計	97,322	94,349
営業外費用		
支払利息	2,027	2,538
その他	184	1,257
営業外費用合計	2,212	3,795
経常利益	354,617	288,183
税金等調整前四半期純利益	354,617	288,183
法人税、住民税及び事業税	88,506	87,715
法人税等調整額	586	△455
法人税等合計	89,092	87,259
四半期純利益	265,524	200,924
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14,436	△19,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,088	219,973

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	265,524	200,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395,221	298,463
為替換算調整勘定	257,706	123,033
退職給付に係る調整額	△9,663	△8,081
その他の包括利益合計	△147,178	413,415
四半期包括利益	118,346	614,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,467	620,740
非支配株主に係る四半期包括利益	39,879	△6,400

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社の連結子会社である㈱ネスコ（以下「ネスコ」）において、ネスコが納入した原材料を使用して製造した当該取引先の製品に不具合が発生したことを理由とする支払留保の通知があり、期日が経過しても売掛金が入金されない事態となりました。ネスコは製品不具合の詳細説明を求めるとともに、取引基本契約に基づき支払の履行を求める催告を行いましたが、該当の原材料のみならずすべての売掛金について支払がなされない状態が続き、取立不能または取立遅延のおそれが生じております。当第1四半期連結会計期間末の売掛債権残高381,755千円の取立不能または取立遅延のおそれのある対象債権の回収のためにネスコは当該取引先を相手とした訴訟を2022年12月に提起し、支払義務の履行を求めていく方針です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,198,104	1,020,671	429,430	-	4,648,206	652,329	5,300,535
その他の収益	-	-	-	63,861	63,861	-	63,861
外部顧客に対する売上高	3,198,104	1,020,671	429,430	63,861	4,712,067	652,329	5,364,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,198,104	1,020,671	429,430	63,861	4,712,067	652,329	5,364,396
セグメント利益	238,022	44,808	2,613	40,750	326,195	39,176	365,372

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,195
「その他」の区分の利益	39,176
全社費用(注)	△105,863
四半期連結損益計算書の営業利益	259,508

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,258,116	943,112	504,495	-	4,705,723	337,272	5,042,996
その他の収益	-	-	-	55,991	55,991	-	55,991
外部顧客に対する売上高	3,258,116	943,112	504,495	55,991	4,761,714	337,272	5,098,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,258,116	943,112	504,495	55,991	4,761,714	337,272	5,098,987
セグメント利益又は損失(△)	260,556	21,426	1,088	32,554	315,625	△9,073	306,551

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	315,625
「その他」の区分の損失	△9,073
全社費用(注)	△108,922
四半期連結損益計算書の営業利益	197,629

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。